

令04原機(大安)020
令和4年4月12日

原子力規制委員会 殿

茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事長 小口 正範(公印省略)

核燃料物質使用変更届

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第55条第2項の規定に基づき、下記のとおり核燃料物質の使用の許可に係る変更を届け出ます。

記

1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
名 称：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
住 所：茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1
代表者の氏名：理事長 小口 正範
事業所の名称：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所(南地区)
事業所の住所：茨城県東茨城郡大洗町成田町4002番地
2. 変更内容
 - 1) 代表者の氏名を、令和4年4月1日をもって変更する。
 - 2) 核燃料物質の予定使用期間を、令和4年4月1日をもって変更する。
詳細は、別添に示す。
3. 変更理由
 - 1) 令和4年4月1日付けで理事長に小口正範が就任したため。
 - 2) 核燃料物質を引き続き使用するため。

以上

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所（南地区）
核燃料物質使用変更届 新旧対照表

令和4年4月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

変更前	変更後	変更理由																				
<p>【大洗研究所（南地区）共通編】</p> <p>1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名</p> <table border="1" data-bbox="166 426 1279 762"> <tr> <td>氏名又は名称</td> <td>国立研究開発法人日本原子力研究開発機構</td> </tr> <tr> <td>住 所</td> <td>〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川7 6 5 番地1</td> </tr> <tr> <td>代表者の氏名</td> <td>理事長 <u>児玉 敏雄</u></td> </tr> <tr> <td>事業所の名称</td> <td>国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所（南地区）</td> </tr> <tr> <td>事業所の住所</td> <td>〒319-1393 茨城県東茨城郡大洗町成田町4 0 0 2 番地</td> </tr> </table>	氏名又は名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	住 所	〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川7 6 5 番地1	代表者の氏名	理事長 <u>児玉 敏雄</u>	事業所の名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所（南地区）	事業所の住所	〒319-1393 茨城県東茨城郡大洗町成田町4 0 0 2 番地	<p>【大洗研究所（南地区）共通編】</p> <p>1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名</p> <table border="1" data-bbox="1457 426 2570 762"> <tr> <td>氏名又は名称</td> <td>国立研究開発法人日本原子力研究開発機構</td> </tr> <tr> <td>住 所</td> <td>〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川7 6 5 番地1</td> </tr> <tr> <td>代表者の氏名</td> <td>理事長 <u>小口 正範</u></td> </tr> <tr> <td>事業所の名称</td> <td>国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所（南地区）</td> </tr> <tr> <td>事業所の住所</td> <td>〒319-1393 茨城県東茨城郡大洗町成田町4 0 0 2 番地</td> </tr> </table>	氏名又は名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	住 所	〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川7 6 5 番地1	代表者の氏名	理事長 <u>小口 正範</u>	事業所の名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所（南地区）	事業所の住所	〒319-1393 茨城県東茨城郡大洗町成田町4 0 0 2 番地	<p>理事長氏名 の変更</p>
氏名又は名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構																					
住 所	〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川7 6 5 番地1																					
代表者の氏名	理事長 <u>児玉 敏雄</u>																					
事業所の名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所（南地区）																					
事業所の住所	〒319-1393 茨城県東茨城郡大洗町成田町4 0 0 2 番地																					
氏名又は名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構																					
住 所	〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字舟石川7 6 5 番地1																					
代表者の氏名	理事長 <u>小口 正範</u>																					
事業所の名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所（南地区）																					
事業所の住所	〒319-1393 茨城県東茨城郡大洗町成田町4 0 0 2 番地																					

変更前			変更後			変更理由
5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1 大洗研究所（南地区）			5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1 大洗研究所（南地区）			
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量*3 最大存在量	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量*3 最大存在量	
(1) 劣化ウラン及びその化合物		736144.02 g	(1) 劣化ウラン及びその化合物		736144.02 g	予定使用期間に係る記載の適正化
(2) 天然ウラン及びその化合物		168480.1 g	(2) 天然ウラン及びその化合物		168480.1 g	
(3) 濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度95%以下) *1		45200.1 g	(3) 濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度95%以下) *1		45200.1 g	
(4) 濃縮ウラン及びその化合物 (20%未満)		121169.1 g	(4) 濃縮ウラン及びその化合物 (20%未満)		121169.1 g	
(5) 濃縮ウラン及びその化合物 (20%以上)		27430.517 g	(5) 濃縮ウラン及びその化合物 (20%以上)		27430.517 g	
(6) プルトニウム及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	109316.7222475 g	(6) プルトニウム及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	109316.7222475 g	
(7) トリウム及びその化合物		25242.020035 g	(7) トリウム及びその化合物		25242.020035 g	
(8) 天然または劣化ウラン 及びその化合物		300 g	(8) 天然または劣化ウラン 及びその化合物		300 g	
(9) ウラン233 及びその化合物		10000.1 g	(9) ウラン233 及びその化合物		10000.1 g	
(10) 濃縮ウラン及びその化合物, 及びプルトニウム 及びその化合物を含む物質*2		239.71 kg	(10) 濃縮ウラン及びその化合物, 及びプルトニウム 及びその化合物を含む物質*2		239.71 kg	
*1 (3)の量は、(4)及び(5)の外枠の量である。 *2 (10)の量は、(4)、(5)及び(6)の内枠の量である。 *3 施設編、照射燃料試験施設（施設番号1）及び照射燃料集合体試験施設（施設番号5）にて示す1F燃料デブリを含む。 注）大洗研究所（南地区）における核燃料物質の年間予定使用量は、各施設で記載している量を合計したものである。			*1 (3)の量は、(4)及び(5)の外枠の量である。 *2 (10)の量は、(4)、(5)及び(6)の内枠の量である。 *3 施設編、照射燃料試験施設（施設番号1）及び照射燃料集合体試験施設（施設番号5）にて示す1F燃料デブリを含む。 注）大洗研究所（南地区）における核燃料物質の年間予定使用量は、各施設で記載している量を合計したものである。			

変更前				変更後				変更理由
5-2 施設毎				5-2 施設毎				
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量	
施設編に記載	(事業所全体) 大洗研究所 (南地区) に同じ	施設編に記載		施設編に記載	(事業所全体) 大洗研究所 (南地区) に同じ	施設編に記載		

変更前				変更後				変更理由	
【照射燃料試験施設】				【照射燃料試験施設】				予定使用期間に係る記載の適正化	
5. 予定使用期間及び年間予定使用量				5. 予定使用期間及び年間予定使用量					
5-1 事業所全体				5-1 事業所全体					
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			
		最大存在量				最大存在量			
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）					
5-2 照射燃料試験施設				5-2 照射燃料試験施設					
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注2)}		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注2)}			
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量		
(1)天然ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	45kg-U	45kg-U	(1)天然ウラン及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	45kg-U	45kg-U		
(2)劣化ウラン及びその化合物		10kg-U	10kg-U	(2)劣化ウラン及びその化合物		10kg-U	10kg-U		
(3)濃縮ウラン及びその化合物		濃縮度20%未満	60kg-U	60kg-U		(3)濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度20%未満	60kg-U	60kg-U
		濃縮度20%以上	10kg-U	10kg-U			濃縮度20%以上	10kg-U	10kg-U
(4)プルトニウム及びその化合物		5kg-Pu	5kg-Pu	(4)プルトニウム及びその化合物		5kg-Pu	5kg-Pu		
(5)ウラン-233及びその化合物		10kg-U	10kg-U	(5)ウラン-233及びその化合物		10kg-U	10kg-U		
(6)トリウム及びその化合物		5kg-Th	5kg-Th	(6)トリウム及びその化合物		5kg-Th	5kg-Th		
(7)上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注1)}	75kg-U・Pu	75kg-U・Pu	(7)上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注1)}	75kg-U・Pu	75kg-U・Pu				
注) (7)は、(3)及び(4)の内枠の合算値である。				注) (7)は、(3)及び(4)の内枠の合算値である。					
注2) 1F 燃料デブリに関する年間予定使用量の詳細については別添1 1F 燃料デブリ分析に係る使用の方法等（照射燃料試験施設）参照。 なお、1F 燃料デブリに関する年間予定使用量については、本5-2項で示した年間予定使用量の範囲内において取り扱うこととする。				注2) 1F 燃料デブリに関する年間予定使用量の詳細については別添1 1F 燃料デブリ分析に係る使用の方法等（照射燃料試験施設）参照。 なお、1F 燃料デブリに関する年間予定使用量については、本5-2項で示した年間予定使用量の範囲内において取り扱うこととする。					

変更前				変更後				変更理由	
【重水臨界実験室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (事業所全体)				【重水臨界実験室】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (事業所全体)				予定使用期間に係る記載の適正化	
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		年間予定使用量				
			最大存在量	延べ取扱量	最大存在量	延べ取扱量			
事業所全体の共通事項に記載 (共通編に記載)				事業所全体の共通事項に記載 (共通編に記載)					
(施設毎)				(施設毎)					
目的番号	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		目的番号	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
			最大存在量	延べ取扱量				最大存在量	延べ取扱量
1	濃縮ウラン及びその化合物 (²³⁵ U90%以下) プルトニウム及びその化合物 (PuO ₂)	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日 "	100mg (U量) (²³⁵ U=90 mg) 50mg (Pu量) (密封)	100mg (U量) (²³⁵ U=90 mg) 50mg (Pu量) (密封)	1	濃縮ウラン及びその化合物 (²³⁵ U90%以下) プルトニウム及びその化合物 (PuO ₂)	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日 "	100mg (U量) (²³⁵ U=90 mg) 50mg (Pu量) (密封)	100mg (U量) (²³⁵ U=90 mg) 50mg (Pu量) (密封)
2	濃縮ウラン及びその化合物 (U-A1, ²³⁵ U95%以下) 劣化ウラン及びその化合物 (U) 天然ウラン及びその化合物 (U) プルトニウム及びその化合物 (Pu-A1) 天然または劣化ウラン及びその化合物 (U)	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日 " " " "	200g (U量) (²³⁵ U=190 g) 300g (U量) 350g (U量) 0.99g (Pu量) (非密封) 300g (U量)	200g (U量) (²³⁵ U=190 g) 300g (U量) 350g (U量) 0.99g (Pu量) (非密封) 300g (U量)	2	濃縮ウラン及びその化合物 (U-A1, ²³⁵ U95%以下) 劣化ウラン及びその化合物 (U) 天然ウラン及びその化合物 (U) プルトニウム及びその化合物 (Pu-A1) 天然または劣化ウラン及びその化合物 (U)	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日 " " " "	200g (U量) (²³⁵ U=190 g) 300g (U量) 350g (U量) 0.99g (Pu量) (非密封) 300g (U量)	200g (U量) (²³⁵ U=190 g) 300g (U量) 350g (U量) 0.99g (Pu量) (非密封) 300g (U量)
3	劣化ウラン及びその化合物 (UO ₂)	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	200kg (U量) (100kg/体×2 体)	200kg (U量) (100kg/体×2 体)	3	劣化ウラン及びその化合物 (UO ₂)	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	200kg (U量) (100kg/体×2 体)	200kg (U量) (100kg/体×2 体)
4	プルトニウム及びその化合物 (PuO ₂ -ZrO ₂)	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	249g (Pu量) (密封)	249g (Pu量) (密封)	4	プルトニウム及びその化合物 (PuO ₂ -ZrO ₂)	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	249g (Pu量) (密封)	249g (Pu量) (密封)

変更前				変更後				変更理由		
5	天然ウラン及びその化合物 (U ₃ O ₈)	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	1g(U量)	1g(U量)	5	天然ウラン及びその化合物 (U ₃ O ₈)	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	1g(U量)	1g(U量)	予定使用期間に係る記載の適正化
	トリウム及びその化合物 (ThO ₂)	〃	10μg(Th量)	10μg(Th量)		トリウム及びその化合物 (ThO ₂)	〃	10μg(Th量)	10μg(Th量)	
	プルトニウム及びその化合物 (PuO ₂)	〃	1μg(Pu量) (非密封)	1μg(Pu量) (非密封)		プルトニウム及びその化合物 (PuO ₂)	〃	1μg(Pu量) (非密封)	1μg(Pu量) (非密封)	

※1 予定使用期間および年間予定使用量は使用方法に一致する。
 ※2 本表の核燃料物質は「3. 核燃料物質の種類」の備考の表と同様に右記の項目に該当する。

変更前				変更後				変更理由	
【放射線管理棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1 事業所全体				【放射線管理棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1 事業所全体				予定使用期間に係る記載の適正化	
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類		年間予定使用量		
			最大存在量	延べ取扱量					最大存在量
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）					
5-2 放射線管理棟				5-2 放射線管理棟					
核燃料物質の種類		自 令和元年 5月 9日 至 令和 4年 3月31日	年間予定使用量		核燃料物質の種類		自 令和 4年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日		
			最大存在量	延べ取扱量				最大存在量	延べ取扱量
(1) 天然ウラン及びその化合物			2 g	2 g	(1) 天然ウラン及びその化合物			2 g	2 g
(2) プルトニウム及びその化合物			120 μ g	120 μ g	(2) プルトニウム及びその化合物			120 μ g	120 μ g
(3) トリウム及びその化合物			1 μ g	1 μ g	(3) トリウム及びその化合物		1 μ g	1 μ g	

変更前	変更後	変更理由																																																																														
<p>【照射燃料集合体試験施設】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (事業所全体)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:20%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width:20%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width:60%;">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th style="width:30%;">最大存在量</th> <th style="width:30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(FMF)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:20%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width:20%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width:60%;">年間予定使用量^{注6}</th> </tr> <tr> <th style="width:30%;">最大存在量</th> <th style="width:30%;">延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日</td> <td>1kg-U</td> <td>1kg-U</td> </tr> <tr> <td>(2)劣化ウラン及びその化合物</td> <td>500kg-U^{注1}</td> <td>500kg-U^{注1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)濃縮ウラン及びその化合物</td> <td>濃縮度20%未満</td> <td>60kg-U^{注2}</td> <td>60kg-U^{注2}</td> </tr> <tr> <td>濃縮度20%以上</td> <td>17kg-U^{注3}</td> <td>17kg-U^{注3}</td> </tr> <tr> <td>(4)プルトニウム及びその化合物</td> <td>86kg-Pu^{注4}</td> <td>86kg-Pu^{注4}</td> </tr> <tr> <td>(5)上記物質(3)及び(4)を含む物質^{注5}</td> <td>163kg-Pu・U</td> <td>163kg-Pu・U</td> </tr> <tr> <td>(6)トリウム及びその化合物</td> <td>0.05kg-Th</td> <td>0.05kg-Th</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 「もんじゅ」内側炉心燃料集合体6体及び「もんじゅ」ブランケット燃料集合体3体並びに「常陽」MK-II炉心燃料集合体10体に相当する。 注2 「常陽」MK-III内側炉心燃料集合体8体に相当する。 注3 「常陽」増殖炉心燃料集合体2体に相当する。 注4 「常陽」MK-II炉心燃料集合体10体及び「もんじゅ」外側炉心燃料集合体6体に相当する。 注5 (5)は(3)及び(4)の内枠の合算値である。 注6 1F燃料デブリに関する年間予定使用量の詳細については別添1 1F燃料デブリ分析に係る使用の方法（照射燃集合体試験施設）参照。 なお、1F燃料デブリに関する年間予定使用量については、本5項で示した年間予定使用量の範囲内において取り扱うこととする。</p>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量		事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注6}		最大存在量	延べ取扱量	(1)天然ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	1kg-U	1kg-U	(2)劣化ウラン及びその化合物	500kg-U ^{注1}	500kg-U ^{注1}	(3)濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度20%未満	60kg-U ^{注2}	60kg-U ^{注2}	濃縮度20%以上	17kg-U ^{注3}	17kg-U ^{注3}	(4)プルトニウム及びその化合物	86kg-Pu ^{注4}	86kg-Pu ^{注4}	(5)上記物質(3)及び(4)を含む物質 ^{注5}	163kg-Pu・U	163kg-Pu・U	(6)トリウム及びその化合物	0.05kg-Th	0.05kg-Th	<p>【照射燃料集合体試験施設】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量 (事業所全体)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:20%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width:20%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width:60%;">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th style="width:30%;">最大存在量</th> <th style="width:30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(FMF)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:20%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width:20%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width:60%;">年間予定使用量^{注6}</th> </tr> <tr> <th style="width:30%;">最大存在量</th> <th style="width:30%;">延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日</td> <td>1kg-U</td> <td>1kg-U</td> </tr> <tr> <td>(2)劣化ウラン及びその化合物</td> <td>500kg-U^{注1}</td> <td>500kg-U^{注1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)濃縮ウラン及びその化合物</td> <td>濃縮度20%未満</td> <td>60kg-U^{注2}</td> <td>60kg-U^{注2}</td> </tr> <tr> <td>濃縮度20%以上</td> <td>17kg-U^{注3}</td> <td>17kg-U^{注3}</td> </tr> <tr> <td>(4)プルトニウム及びその化合物</td> <td>86kg-Pu^{注4}</td> <td>86kg-Pu^{注4}</td> </tr> <tr> <td>(5)上記物質(3)及び(4)を含む物質^{注5}</td> <td>163kg-Pu・U</td> <td>163kg-Pu・U</td> </tr> <tr> <td>(6)トリウム及びその化合物</td> <td>0.05kg-Th</td> <td>0.05kg-Th</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 「もんじゅ」内側炉心燃料集合体6体及び「もんじゅ」ブランケット燃料集合体3体並びに「常陽」MK-II炉心燃料集合体10体に相当する。 注2 「常陽」MK-III内側炉心燃料集合体8体に相当する。 注3 「常陽」増殖炉心燃料集合体2体に相当する。 注4 「常陽」MK-II炉心燃料集合体10体及び「もんじゅ」外側炉心燃料集合体6体に相当する。 注5 (5)は(3)及び(4)の内枠の合算値である。 注6 1F燃料デブリに関する年間予定使用量の詳細については別添1 1F燃料デブリ分析に係る使用の方法（照射燃集合体試験施設）参照。 なお、1F燃料デブリに関する年間予定使用量については、本5項で示した年間予定使用量の範囲内において取り扱うこととする。</p>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量		事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注6}		最大存在量	延べ取扱量	(1)天然ウラン及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	1kg-U	1kg-U	(2)劣化ウラン及びその化合物	500kg-U ^{注1}	500kg-U ^{注1}	(3)濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度20%未満	60kg-U ^{注2}	60kg-U ^{注2}	濃縮度20%以上	17kg-U ^{注3}	17kg-U ^{注3}	(4)プルトニウム及びその化合物	86kg-Pu ^{注4}	86kg-Pu ^{注4}	(5)上記物質(3)及び(4)を含む物質 ^{注5}	163kg-Pu・U	163kg-Pu・U	(6)トリウム及びその化合物	0.05kg-Th	0.05kg-Th	<p>予定使用期間に係る記載の適正化</p>
核燃料物質の種類			予定使用期間	年間予定使用量																																																																												
	最大存在量																																																																															
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）																																																																																
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注6}																																																																														
		最大存在量	延べ取扱量																																																																													
(1)天然ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	1kg-U	1kg-U																																																																													
(2)劣化ウラン及びその化合物		500kg-U ^{注1}	500kg-U ^{注1}																																																																													
(3)濃縮ウラン及びその化合物		濃縮度20%未満	60kg-U ^{注2}	60kg-U ^{注2}																																																																												
		濃縮度20%以上	17kg-U ^{注3}	17kg-U ^{注3}																																																																												
(4)プルトニウム及びその化合物		86kg-Pu ^{注4}	86kg-Pu ^{注4}																																																																													
(5)上記物質(3)及び(4)を含む物質 ^{注5}		163kg-Pu・U	163kg-Pu・U																																																																													
(6)トリウム及びその化合物	0.05kg-Th	0.05kg-Th																																																																														
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																																																														
		最大存在量																																																																														
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）																																																																																
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注6}																																																																														
		最大存在量	延べ取扱量																																																																													
(1)天然ウラン及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	1kg-U	1kg-U																																																																													
(2)劣化ウラン及びその化合物		500kg-U ^{注1}	500kg-U ^{注1}																																																																													
(3)濃縮ウラン及びその化合物		濃縮度20%未満	60kg-U ^{注2}	60kg-U ^{注2}																																																																												
		濃縮度20%以上	17kg-U ^{注3}	17kg-U ^{注3}																																																																												
(4)プルトニウム及びその化合物		86kg-Pu ^{注4}	86kg-Pu ^{注4}																																																																													
(5)上記物質(3)及び(4)を含む物質 ^{注5}		163kg-Pu・U	163kg-Pu・U																																																																													
(6)トリウム及びその化合物	0.05kg-Th	0.05kg-Th																																																																														

変更前		変更後				変更理由
【高速実験炉】		【高速実験炉】				予定使用期間に係る記載の適正化
5. 予定使用期間及び年間予定使用量		5. 予定使用期間及び年間予定使用量				
5-1 事業所全体		5-1 事業所全体				
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		年間予定使用量		
		最大存在量		最大存在量		
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）		事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				
5-2 施設毎 (高速実験炉)		5-2 施設毎 (高速実験炉)				
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		年間予定使用量		
		最大存在量	延べ取扱量	最大存在量	延べ取扱量	
(1) 劣化ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	48.1g-U	48.1g-U	48.1g-U	48.1g-U	
(2) 天然ウラン及びその化合物		77g-U	77g-U	77g-U	77g-U	
(3) 濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度20%未満*1)		81.1g-U	81.1g-U	81.1g-U	81.1g-U	
		16.2g- ²³⁵ U	16.2g- ²³⁵ U	16.2g- ²³⁵ U	16.2g- ²³⁵ U	
(4) 濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度20%以上*2)		13.6g-U*3	13.6g-U*3	13.6g-U*3	13.6g-U*3	
		13.0g- ²³⁵ U*4	13.0g- ²³⁵ U*4	13.0g- ²³⁵ U*4	13.0g- ²³⁵ U*4	
(5) プルトニウム及びその化合物	352mg-Pu (密封)	352mg-Pu (密封)	352mg-Pu (密封)	352mg-Pu (密封)		
(6) トリウム及びその化合物	47.1g-Th	47.1g-Th	47.1g-Th	47.1g-Th		
* 1 : 19.9%以下。 * 2 : 80~99.9%。 * 3 : 13.6gのうち、国際原子力機関保有分は4.3gである。 * 4 : 13.0gのうち、国際原子力機関保有分は4.0gである。		* 1 : 19.9%以下。 * 2 : 80~99.9%。 * 3 : 13.6gのうち、国際原子力機関保有分は4.3gである。 * 4 : 13.0gのうち、国際原子力機関保有分は4.0gである。				

変更前				変更後				変更理由
【ナトリウム分析室】				【ナトリウム分析室】				予定使用期間に係る記載の適正化
5. 予定使用期間及び年間予定使用量				5. 予定使用期間及び年間予定使用量				
5-1 事業所全体				5-1 事業所全体				
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		
		最大存在量				最大存在量		
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				
5-2 施設毎 (ナトリウム分析室)				5-2 施設毎 (ナトリウム分析室)				
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量	
(1)劣化ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	1 g-U	1 g-U	(1)劣化ウラン及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	1 g-U	1 g-U	
(2)天然ウラン及びその化合物		2.1 g-U	2.1 g-U	(2)天然ウラン及びその化合物		2.1 g-U	2.1 g-U	
(3)濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度20%未満)		8 g-U	8 g-U	(3)濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度20%未満)		8 g-U	8 g-U	
		1.6 g- ²³⁵ U	1.6 g- ²³⁵ U			1.6 g- ²³⁵ U	1.6 g- ²³⁵ U	
(4)濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度20%以上93%未満)		8 g-U	8 g-U	(4)濃縮ウラン及びその化合物 (濃縮度20%以上93%未満)		8 g-U	8 g-U	
		7.44 g- ²³⁵ U	7.44 g- ²³⁵ U			7.44 g- ²³⁵ U	7.44 g- ²³⁵ U	
(5)プルトニウム及びその化合物		2 μg-Pu (非密封)	2 μg-Pu (非密封)	(5)プルトニウム及びその化合物		2 μg-Pu (非密封)	2 μg-Pu (非密封)	
	0.5 μg-Pu (密封)	0.5 μg-Pu (密封)		0.5 μg-Pu (密封)	0.5 μg-Pu (密封)			
(6)トリウム及びその化合物		2 μg-Th	2 μg-Th	(6)トリウム及びその化合物		2 μg-Th	2 μg-Th	
(7)ウラン233及びその化合物		0.1 g-U	0.1 g-U	(7)ウラン233及びその化合物		0.1 g-U	0.1 g-U	

変更前				変更後				変更理由	
【照射材料試験施設】				【照射材料試験施設】				予定使用期間に係る記載の適正化	
5. 予定使用期間及び年間予定使用量				5. 予定使用期間及び年間予定使用量					
(事業所全体)				(事業所全体)					
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量		
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）					
(MMF)				(MMF)					
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量			
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量		
(1) 天然ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和7年3月31日	1mg-U	1mg-U	(1) 天然ウラン及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	1mg-U	1mg-U		
(2) 劣化ウラン及びその化合物		1mg-U	1mg-U	(2) 劣化ウラン及びその化合物		1mg-U	1mg-U		
(3) 濃縮ウラン及びその化合物		濃縮度20%未満	1mg-U	1mg-U		(3) 濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度20%未満	1mg-U	1mg-U
		濃縮度20%以上	1mg-U	1mg-U			濃縮度20%以上	1mg-U	1mg-U
(4) プルトニウム及びその化合物		1mg-Pu	1mg-Pu	(4) プルトニウム及びその化合物		1mg-Pu	1mg-Pu		
(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注)}		3mg-U・Pu	3mg-U・Pu	(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注)}		3mg-U・Pu	3mg-U・Pu		
(6) トリウム及びその化合物	-	-	(6) トリウム及びその化合物	-	-				
注) (5)は、(3)及び(4)の内枠の合算値である。				注) (5)は、(3)及び(4)の内枠の合算値である。					

変更前	変更後	変更理由																																								
<p>【燃料溶融試験試料保管室】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>5-1 事業所全体</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 30%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width: 20%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width: 50%;">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">最大存在量</th> <th style="width: 25%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 燃料溶融試験試料保管室</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width: 70%;">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th style="width: 35%;">最大存在量</th> <th style="width: 35%;">延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">天然ウラン 及びその化合物</td> <td style="vertical-align: top;">自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日</td> <td style="text-align: center;">100kg (U量)</td> <td style="text-align: center;">100kg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量		事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン 及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	100kg (U量)	100kg (U量)	<p>【燃料溶融試験試料保管室】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>5-1 事業所全体</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 30%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width: 20%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width: 50%;">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">最大存在量</th> <th style="width: 25%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 燃料溶融試験試料保管室</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width: 70%;">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th style="width: 35%;">最大存在量</th> <th style="width: 35%;">延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">天然ウラン 及びその化合物</td> <td style="vertical-align: top;">自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日</td> <td style="text-align: center;">100kg (U量)</td> <td style="text-align: center;">100kg (U量)</td> </tr> </tbody> </table>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量		事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	天然ウラン 及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	100kg (U量)	100kg (U量)	<p>予定使用期間に係る記載の適正化</p>
核燃料物質の種類			予定使用期間	年間予定使用量																																						
	最大存在量																																									
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）																																										
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																								
		最大存在量	延べ取扱量																																							
天然ウラン 及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	100kg (U量)	100kg (U量)																																							
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																								
		最大存在量																																								
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）																																										
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																								
		最大存在量	延べ取扱量																																							
天然ウラン 及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	100kg (U量)	100kg (U量)																																							

変更前	変更後	変更理由
<p>【照射装置組立検査施設】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>5.1 予定使用期間 自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日</p> <p>5.2 年間予定使用量「(1)、(2)、(3)は使用目的及び方法の(1)、(2)、(3)に対応する。」</p> <p>(1)① 天然ウラン及びその化合物 20kg-U ② 劣化ウラン及びその化合物 20kg-U ③ 濃縮ウラン及びその化合物（濃縮度48%以下） 45kg-U ④ プルトニウム及びその化合物 18kg-Pu ⑤ トリウム及びその化合物 20kg-Th</p> <p>(2)① 濃縮ウラン及びその化合物（濃縮度80～99.9%） 4g-U²³⁵ ② 天然ウラン及びその化合物 45g-U ③ 劣化ウラン及びその化合物 46g-U ④ トリウム及びその化合物 45g-Th ⑤ プルトニウム及びその化合物 0.33g-Pu</p> <p>(3) 濃縮ウラン及びその化合物（濃縮度19.9%以下） 90g-U(17.9g-U²³⁵)</p>	<p>【照射装置組立検査施設】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>5.1 予定使用期間 自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日</p> <p>5.2 年間予定使用量「(1)、(2)、(3)は使用目的及び方法の(1)、(2)、(3)に対応する。」</p> <p>(1)① 天然ウラン及びその化合物 20kg-U ② 劣化ウラン及びその化合物 20kg-U ③ 濃縮ウラン及びその化合物（濃縮度48%以下） 45kg-U ④ プルトニウム及びその化合物 18kg-Pu ⑤ トリウム及びその化合物 20kg-Th</p> <p>(2)① 濃縮ウラン及びその化合物（濃縮度80～99.9%） 4g-U²³⁵ ② 天然ウラン及びその化合物 45g-U ③ 劣化ウラン及びその化合物 46g-U ④ トリウム及びその化合物 45g-Th ⑤ プルトニウム及びその化合物 0.33g-Pu</p> <p>(3) 濃縮ウラン及びその化合物（濃縮度19.9%以下） 90g-U(17.9g-U²³⁵)</p>	<p>予定使用期間に係る記載の適正化</p>

変更前				変更後				変更理由																																																									
<p>【第2照射材料試験施設】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(事業所全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">事業所全体の共通事項として記載 (共通編に記載)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	事業所全体の共通事項として記載 (共通編に記載)				<p>【第2照射材料試験施設】</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>(事業所全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">事業所全体の共通事項として記載 (共通編に記載)</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	事業所全体の共通事項として記載 (共通編に記載)				<p>予定使用期間に係る記載の適正化</p>																																					
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																																															
		最大存在量	延べ取扱量																																																														
事業所全体の共通事項として記載 (共通編に記載)																																																																	
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																																															
		最大存在量	延べ取扱量																																																														
事業所全体の共通事項として記載 (共通編に記載)																																																																	
<p>(MMF-2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="6">自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td>(2) 劣化ウラン及びその化合物</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 濃縮ウラン及びその化合物</td> <td>濃縮度20%未満</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td>濃縮度20%以上</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td>(4) プルトニウム及びその化合物</td> <td>1mg-Pu</td> <td>1mg-Pu</td> </tr> <tr> <td>(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質^{注)}</td> <td>3mg-U・Pu</td> <td>3mg-U・Pu</td> </tr> <tr> <td>(6) トリウム及びその化合物</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) (5)は、(3)及び(4)の内枠の合算値である。</p>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	(1) 天然ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	1mg-U	1mg-U	(2) 劣化ウラン及びその化合物	1mg-U	1mg-U	(3) 濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度20%未満	1mg-U	1mg-U	濃縮度20%以上	1mg-U	1mg-U	(4) プルトニウム及びその化合物	1mg-Pu	1mg-Pu	(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注)}	3mg-U・Pu	3mg-U・Pu	(6) トリウム及びその化合物	-	-	<p>(MMF-2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2">予定使用期間</th> <th colspan="2">年間予定使用量</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 天然ウラン及びその化合物</td> <td rowspan="6">自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td>(2) 劣化ウラン及びその化合物</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 濃縮ウラン及びその化合物</td> <td>濃縮度20%未満</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td>濃縮度20%以上</td> <td>1mg-U</td> <td>1mg-U</td> </tr> <tr> <td>(4) プルトニウム及びその化合物</td> <td>1mg-Pu</td> <td>1mg-Pu</td> </tr> <tr> <td>(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質^{注)}</td> <td>3mg-U・Pu</td> <td>3mg-U・Pu</td> </tr> <tr> <td>(6) トリウム及びその化合物</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) (5)は、(3)及び(4)の内枠の合算値である。</p>				核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		最大存在量	延べ取扱量	(1) 天然ウラン及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	1mg-U	1mg-U	(2) 劣化ウラン及びその化合物	1mg-U	1mg-U	(3) 濃縮ウラン及びその化合物	濃縮度20%未満	1mg-U	1mg-U	濃縮度20%以上	1mg-U	1mg-U	(4) プルトニウム及びその化合物	1mg-Pu	1mg-Pu	(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注)}	3mg-U・Pu	3mg-U・Pu	(6) トリウム及びその化合物	-	-
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																																															
		最大存在量	延べ取扱量																																																														
(1) 天然ウラン及びその化合物	自 令和元年5月9日 至 令和4年3月31日	1mg-U	1mg-U																																																														
(2) 劣化ウラン及びその化合物		1mg-U	1mg-U																																																														
(3) 濃縮ウラン及びその化合物		濃縮度20%未満	1mg-U	1mg-U																																																													
		濃縮度20%以上	1mg-U	1mg-U																																																													
(4) プルトニウム及びその化合物		1mg-Pu	1mg-Pu																																																														
(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注)}		3mg-U・Pu	3mg-U・Pu																																																														
(6) トリウム及びその化合物	-	-																																																															
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量																																																															
		最大存在量	延べ取扱量																																																														
(1) 天然ウラン及びその化合物	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	1mg-U	1mg-U																																																														
(2) 劣化ウラン及びその化合物		1mg-U	1mg-U																																																														
(3) 濃縮ウラン及びその化合物		濃縮度20%未満	1mg-U	1mg-U																																																													
		濃縮度20%以上	1mg-U	1mg-U																																																													
(4) プルトニウム及びその化合物		1mg-Pu	1mg-Pu																																																														
(5) 上記物質の(3)及び(4)を含む物質 ^{注)}		3mg-U・Pu	3mg-U・Pu																																																														
(6) トリウム及びその化合物	-	-																																																															

変更前				変更後				変更理由
【環境監視棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1 事業所全体				【環境監視棟】 5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1 事業所全体				予定使用期間に係る記載の適正化
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類		予定使用期間	
			最大存在量	延べ取扱量				
事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				事業所全体の共通事項として記載（共通編に記載）				
5-2 環境監視棟				5-2 環境監視棟				
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類		予定使用期間	
			最大存在量	延べ取扱量				最大存在量
(1) 天然ウラン及びその化合物		自 令和元年 5月 9日 至 令和 4年 3月31日	3 g	3 g	(1) 天然ウラン及びその化合物		自 令和 4年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日	
(2) プルトニウム及びその化合物			125 μ g	125 μ g	(2) プルトニウム及びその化合物			
(3) トリウム及びその化合物			21 μ g	21 μ g	(3) トリウム及びその化合物			